

平成 20 年度事務事業評価表(団体運営費補助用)

①事務事業名		事業コード 120312		連合婦人会補助金		担当部課 グループ	部課コード	120300	TEL	2998-9242	
補助開始年度		昭和	39	年度	→		終了予定年度	平成	年度		
							教育委員会教育総務部 社会教育課				
							社会教育推進担当				

②事業の内容	根拠法令	社会教育法・所沢市社会教育団体補助金交付要綱									
	分野別計画・指針	3次所沢市生涯学習推進計画・所沢市次世代育成支援総合計画・所沢市男女共同参画計画									
	関連・類似事業										
	総合計画の体系	政策	第4章 いきいきと学び 人・文化をはぐむまち	施策	4節 社会教育	中柱	1人と地域をはぐむ社会教育の推進	小柱	(6)社会教育関係団体やボランティア活動の支援		
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ										
コード 3261 事務事業見直しの推進											
補助開始の背景		当時、女性の地位向上のための啓発活動とともに、女性の社会進出や男女平等をめざした学習活動を行っていた連合婦人会に対し、団体の自主性を尊重し支援することで、女性の地位向上及び当市の社会教育の一層の進行発展のために補助を開始した。									
補助の目的		生涯学習の推進や社会教育の振興及び男女共同参画などに貢献している連合婦人会に補助金を交付し支援する。							団体への加盟数		
団体における実施事業の概要		市内各地区婦人会の交流、情報交換、研修 全市的行事の実施(地域安全運動推進啓発街頭キャンペーン、青少年育成街頭キャンペーン、所沢市総合防災訓練、市民文化フェア、所沢市連合婦人会総会、会報誌発行等)							4		単位 支部

③経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	補助金支出額当初予算		270	250	250
	補助額決算(見込み含む)		270	250	
	臨時職員賃金		人	人	
	正規職員人件費		0.09 人	0.09 人	
	事業費合計		1,098	1,095	
	市民一人当たり(単位:円)		3.2	3.2	

④指標	団体活動実績	活動回数	本部及び支部の活動回数	単位	回	H 18	95	H 19	92	H20見込み	92	将来目標
		支部数	地区支部の数	支部			5		4		4	
	成果分析	活動回数	本部及び支部の活動回数	目標値	回		95		92			
				実績	%	達成率						実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2

⑤一次評価	補助金の有効性	評価項目	総合計画への貢献度	<input type="checkbox"/> 貢献度は高い	<input checked="" type="checkbox"/> ある程度貢献している	<input type="checkbox"/> 貢献度は低い	
		成果分析に基づく目的の達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 達成度は高い	<input type="checkbox"/> ある程度達成している	<input type="checkbox"/> 達成度は低い		
		団体活動の自主性	<input checked="" type="checkbox"/> 自主性は高い	<input type="checkbox"/> ある程度自主的である	<input type="checkbox"/> 自主性は低い		
		事業費に占める補助金の割合	<input type="checkbox"/> 81%以上	<input type="checkbox"/> 61%~80%	<input checked="" type="checkbox"/> 41%~60%	<input type="checkbox"/> 21%~40%	<input type="checkbox"/> 20%以下
		活動内容及び会計処理の適切さ	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 改善余地がある	<input type="checkbox"/> 改善の余地が大きい		
今後の必要性	<input type="checkbox"/> 増大する	<input type="checkbox"/> 減少する	<input checked="" type="checkbox"/> 変わらない				
目標設定	H20	目標項目	教育基本法、社会教育法に規定のある地方公共団体の責務である社会教育の奨励、事業の実施などを、社会教育団体を支援することで効果を得ようとするものである。	達成水準	補助団体の活動実績の向上、参加者の増加等を目指す。	時期	
H21予算の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状通り	<input type="checkbox"/> 増額	<input type="checkbox"/> 減額	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 終了		
上記評価理由(補助金の有効性及び予算の方向性)	長年、所沢市の社会教育の大きな役割を担っており、様々な場面において指導的役割を果たしている。特に男女共同参画社会を推進していく上で重要な役割を果たす団体である。このように、単位婦人会を基盤に市内で広範な活動を行っている団体と行政との連携は必要であり、今後とも必要な助成を継続していくものである。						
評価日	平成20年5月9日	記入者職氏名	社会教育課長 則武辰夫				

⑥二次評価	次年度用評価	部内優先順位...	位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標							<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
	評価理由	市長マニフェスト							<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業
評価日									

⑦個別計画の方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ... 無し			計画コード	
	施策の体系	施策の方向				
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ... 無し			計画コード	
	基本目標					
主要課題						
施策の方向						